

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2022年 公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項よって行う。

2. 競技場について

主競技場は、全天候舗装であり、スパイクシューズのピンの長さはトラック競技9mm以下、フィールド競技12mm以下とする。スパイクの本数は11本以内とする。

3. 練習について

- ①練習会場は、栃木県総合運動公第2補助競技場とする。ただし投てき物を使用しての練習は禁止する。
- ②練習は引率責任者の監督のもと、時間と場所を厳守し競技役員の指示に従って行う。
- ③競技開始前以外の投てき練習を禁止する。

4. 招集について

- ①招集所は、ゲート3（1500mスタート地点）外側に設ける。
- ②招集開始時刻および招集完了時刻は競技開始時刻を基準とする。

種目	招集開始	招集完了
トラック種目	20分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	45分前	40分前
棒高跳（男子）	1時間20分前	1時間40分前
棒高跳（女子）	1時間前	50分前
砲丸投・円盤投・ハンマー投	40分前	30分前
やり投	50分前	45分前
混成第1種目（トラック）	20分前	15分前
七種2日目 走幅跳	40分前	30分前

- ③混成競技は2日間とも、2種目以降の招集はトラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前に混成競技控所で行う。
- ④招集完了時刻に遅れた競技車は、当該競技を棄権したものとして処理する。
- ⑤競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際にアスリートビブス、スパイクピンの本数と長さ、靴底の厚さ、商標等の点検を受ける。
- ⑥代理人による最終確認は原則として認めない。ただし、2種目に同時に兼ねて出場する競技者は招集開始時刻までにその旨を招集所競技者係に申し出る。

5. 欠場について

出場種目を欠場する場合は、招集開始15分前までに、欠場する旨を招集所競技者係に申し出る。

6. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- ②トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右後方につける。（競技終了後持ち帰り）4×100mRと4×400mRはアンカーがパンツ右後方につける。ただし、4×400mRの2～4走の選手に限りコーナートップ判定のため、パンツの左右両方に腰ナンバーカードをつける。

7. 入退場について

競技者の入退場は、競技役員の指示に従い、規律ある行動をとるよう心がける。

8. 競技の番組編成について（レーン順・試技順）

- ①トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ②トラック競技の準決勝・決勝の走路順は、主催者が抽選し招集所に掲示する。

- ③混成競技において、トラック種目の組・走路順、フィールド種目の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ④トラック競技のプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは、下記の方法で決定する。
- ◆100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者（チーム）についてはレーンに余裕がある場合であっても、1/1000秒で着差の判定をする。
 - ◆1500m・3000m・5000m・3000m S Cの同タイム者は、次のラウンドに進出させる。

9. トラック競技について

- ①すべてのトラック競技は写真判定（1/100秒）で行う。
- ②短距離競技では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

10. リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を招集完了時刻1時間前までにT I Cに提出する。
- ②リレー競技においては、同一チームの競技者は同一のユニフォームを着用する。

11. 競技用器具について

- ①競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
- ②競技者所有の棒高跳用ポールは、競技場所での検査に合格したものが使用できる。
- ③競技者所有の投てき用器具は検査に合格し、全参加者が競技会での使用を条件に持ち込みを認める。
持ち込む用器具は、競技開始2時間前から1時間30分前まで器具庫2（ゲート4外側）で検査受付を行う。

12. 跳躍競技について

- ①走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は下記のとおりである。（審判長判断で変更する場合もある。）

種目	練習	バーの上げ方							
男子 走高跳	1m65 1m85	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	以後3cm
女子 走高跳	1m35 1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61		以後3cm
男子 棒高跳	2m70 3m70 4m20	2m80	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	以後10cm (5cm)
女子 棒高跳	1m70 2m30	1m80	2m00	2m10					以後10cm (5cm)
八種競技 走高跳	1m35 1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後3cm
七種競技 走高跳	1m15 1m40	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43		以後3cm

- ②第1位決定のための、バーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

13. 入賞・得点について

- ①各種目入賞は第8位までとする。
- ②各種目の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
- ③男子及び女子別の合計得点によって、学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い学校を上位とする。）

14. 表彰について

- ①学校対校男女別第8位まで、閉会式で表彰する。
- ②種目別第3位まで賞状。

15. 抗議について

WA競技規則TR 8による。

16. 助力について

WA競技規則TR 6に従う。なお、スタンドから映像を見せることは認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししたりしての映像確認は認めない。

17. 競技場使用について

- ①主競技場の使用時間は7:30~18:00までとする。
- ②参加校テント設置は、第2競技場外周芝生のみとする。
- ③参加校シート設置場所は、主競技場2階コンコース指定の場所とする。
- ④主競技場における横断幕の設置は、2階スタンドの最前部とする。正面スタンドへの設置は禁止。ゲート1~4の上部への設置も禁止。部旗・のぼり旗等の設置は禁止。ガムテープによる固定も禁止。
- ⑤更衣室は感染症対策のため使用しないこと。更衣は主競技場2階WC内の更衣スペース等を利用する。

18. プログラム訂正について

プログラムに訂正がある場合は、大会第1日目の競技開始1時間前までに、大会本部に申し出る。

19. 競技について

男子5000m・女子3000mは二段階スタートで実施する。

20. 補助員協力について

参加校の補助員受付は、競技開始1時間前までに補助員係に申し出る。

21. 関東大会について

- ①本大会の各種目6位まで、関東大会の出場権を得る。ただし、混成・競歩競技は4位までとする。
- ②トラック競技で、第6位（男女競歩・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は第4位）同タイム者・チームが出た場合は関東大会の出場権を得る。但し、1/1000秒以上の差があれば着差ありとする。

22. 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項

- ①新型コロナウイルス感染拡大状況により、参加申込み完了後に競技会を中止とする場合もある。日本政府または各都道府県による緊急事態宣言が発令した場合などは、県外在住の参加者に対して参加を断る場合もある。その際は栃木陸協Webサイト等で通知する。また、競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。
- ②競技会直前に発熱等の症状が出た者は、参加を控えること。
- ③競技会に参加する全ての来場者（競技者、指導者、引率者、マネージャーなど）に対し、別紙「健康確認シート」の提出を義務づける。
- ④競技会開催中に体調の異変を感じた場合は、速やかに顧問教諭に連絡し、主催者の指示を受けること。
- ⑤有観客開催とするが、観覧者はゲートAから入退場し、検温と健康確認シートの提出を義務づける。観覧者の座席は主競技場の3階観客席とし、2階席への往来は厳禁とする。
- ⑥発声による応援は禁止し、拍手等での応援で行うこととする。

23. その他

- ①競技会で発生した傷病等については、主催者が応急手当をする。
- ②貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意する。
- ③ゴミは各自、各学校にて持ち帰りとする。